

CSR報告書2017

Corporate Social Responsibility Report 2017



企業理念

自然と社会と人に深くかかわる企業として、
人々のためにより良い環境を創造する。



大成ロテック株式会社は、社会とすべての利害関係者から信頼を得て、
企業の社会的責任、持続的な成長を果たすことを追及し、
法令の順守、業務の継続的改善を推進するためのマネジメントシステム方針をここに定める。

環境方針

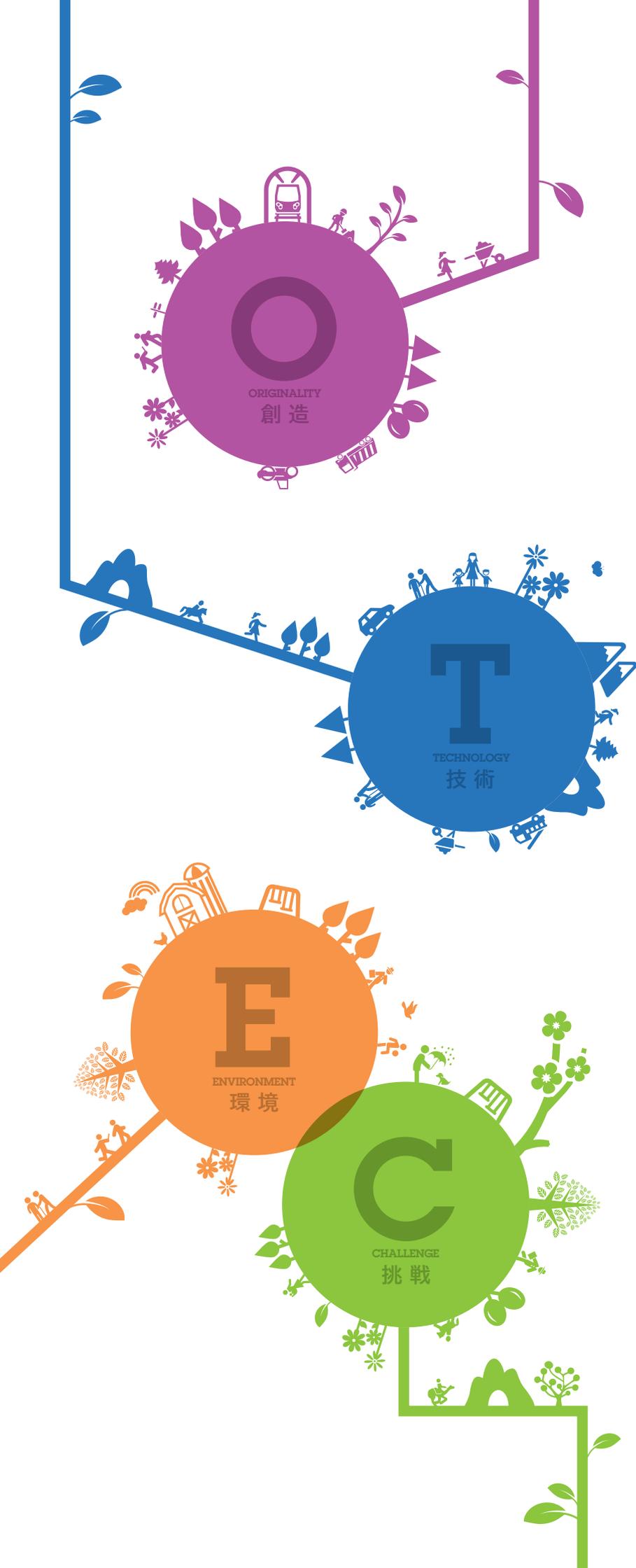
地球環境の保全を推進し、
循環型社会の実現に寄与して、
次世代のために
美しい快適環境を創造する。

安全衛生方針

先取り型の安全衛生管理活動を実施して、
労働災害、公衆災害、交通事故を撲滅し、
健康で明るい職場環境を構築する。

品質方針

想像力と知恵を結集して
技術の研鑽に努め、
社会と顧客から評価され、
信頼される品質を確立する。



Contents

企業理念	1
会社概要／2017年度経営方針	3
事業所ネットワーク	4
トップメッセージ	5
特集	
さらなる現場技術力の強化に向けて 『i-Construction』への取り組み	7
景観・環境技術紹介	9
合材工場紹介	12
○ マネジメント報告	13
● 地域社会とともに	15
従業員とともに	17
労働安全衛生管理体制	19
● 環境活動報告	21
2016年度の施工実績	22

編集方針

当CSR報告書は、大成ロテック株式会社の社会に果たす役割とさまざまな取り組みを皆様にお伝えすることを目的に発行しています。

2017年度はより幅広く当社の取り組みを報告するべく、海外のグループ会社や最新の合材工場の紹介など、項目の拡充を図りました。

当報告書が、当社をより良く理解していただくための一助となれば幸いです。

お忙しい中、記事にご協力いただいた方々、ならびに編集委員にこの場をかりて深く感謝致します。

対象組織：大成ロテック株式会社

対象期間：2016年4月1日から
2017年3月31日まで
(一部当該期間以外の内容も記載しています。)

お問い合わせ先：

大成ロテック株式会社 経営企画部
東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー
TEL 03-5925-9435
FAX 03-3362-5804



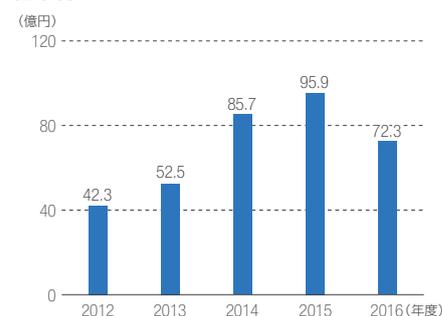
会社概要

商号	大成ロテック株式会社
本社設立	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 1961年(昭和36年)6月15日
資本金	113億5百万円
建設業許可	国土交通大臣許可(特-29)第1964号
建築士事務所登録	一級建築士事務所(東京都知事登録第21111号)
建設コンサルタント登録	国土交通大臣登録 建26第130号
宅地建物取引業者	東京都知事(11)第33255号
従業員数	971名(2017年(平成29年)3月31日現在)
営業種目	1.次に掲げる工事の設計、施工、監理およびコンサルティング (1)道路工事 (2)舗装工事 (3)防水工事 (4)管工事 (5)造園工事 (6)その他の土木工事 (7)その他道路に関する工事 (8)建築工事 2.前号の工事に使用する諸材料の製造および販売 3.建設機械器具の設計、製作、販売、修理および賃貸 4.スポーツ施設、飲食店等の商業施設、医療介護施設等の経営および賃貸 5.産業廃棄物処理に関する事業 6.不動産取引および不動産管理に関する事業 7.労働者派遣事業 8.前各号に付帯関連する一切の事業

受注高および売上高



経常利益



2017年度経営方針

当社は、持続的成長を実現していくために以下の取り組みを推進してまいります。

∴ Sustainability ∴

持続的成長を実現していくために 私たちは未来に向けて挑戦します

コンプライアンス体制の再構築

一連の独占禁止法違反事件で失った信頼を回復するために、管理体制の強化および再発防止策の実施に全社一丸となって取り組みます。

人材投資成長産業への取り組み

働き方改革および職場・仕事の魅力と生産性の向上に取り組み、人と企業が成長するサイクルを構築します。

大成建設グループとの連携強化

当社が属する大成建設グループ戦略を推進し、グループ全体の価値向上に寄与していきます。

業界内で確固たる地位の構築

東京五輪後も当社が持続的成長を遂げ、将来業界No.1を目指すための素地を形成していきます。

事業所ネットワーク

本社を中心に支社、事業所など、日本全国に150ヶ所以上の拠点を設置。各種工事の施工、アスファルト合材などの製造・販売など、万全の事業ネットワークで豊かな社会づくりに貢献します。



● 本社

技術研究所／機械技術センター／鴻巣研修センター

● 北海道支社

道南事業所	函館営業所／門別営業所／道南工事事務所／日吉工事事務所／函館アスコン／イブリアスコン／洞爺アスコン／苫東アスコン／門別合材工場
道央事業所	札幌営業所／道央工事事務所／札幌中央アスコン
道北事業所	遠別営業所／弟子屈営業所／道北工事事務所／道東工事事務所／大雪アスコン／遠別合材工場／丹頂アスコン／弟子屈合材工場

● 東北支社

北東北事業所	岩手工事事務所／釜石工事事務所／久慈工事事務所／青森工事事務所／秋田工事事務所／盛岡合材工場／久慈中央アスコン／秋田アスコン
宮城事業所	宮城工事事務所／山形工事事務所／仙台東アスコン／山形合材工場
福島事業所	福島工事事務所／福島北工事事務所／いわき工事事務所／相馬工事事務所／福島県中央アスコン／若松アスコン／福島・県北アスコン／いわきアスコン／相馬アスコン

● 東関東支社

千葉事業所	千葉営業所／成田営業所／房総営業所／千葉工事事務所／成田工事事務所／房総合材工場／成田アスコン
船橋事業所	船橋営業所／船橋工事事務所／柏工事事務所／トーセキアスコン
茨城事業所	茨城営業所／鹿島営業所／土浦工事事務所／ひたちなか工事事務所／石岡合材工場

● 北関東支社

さいたま事業所	さいたま営業所／さいたま工事事務所／栃木工事事務所／浦和アスコン／鴻巣上谷環境センター／栃木アスコン
川越事業所	川越営業所／川越工事事務所／花園工事事務所／群馬工事事務所／花園合材工場

● 北陸支社

新潟事業所	新潟工事事務所／新潟アスコン
-------	----------------

● 南関東支社

東京事業所	東京営業所／城東工事事務所／城西工事事務所／東京青海合材工場／城南島リサイクルセンター
多摩事業所	多摩営業所／多摩工事事務所
横浜事業所	横浜営業所／横浜工事事務所／相模アスコン
京浜事業所	京浜営業所／京浜工事事務所

● 中部支社

名古屋事業所	福井営業所／名古屋営業所／富山営業所／名古屋工事事務所／石川工事事務所／エーシートヨアケ／加賀アスコン
尾張事業所	尾張営業所／岐阜営業所／長野営業所／尾張工事事務所／小牧合材工場
三重事業所	三重営業所／三重工事事務所／名四アスコン
浜松事業所	浜松営業所／浜松工事事務所／湖西アスコン／静岡アスコン

● 関西支社

大阪事業所	大阪営業所／奈良営業所／大阪工事事務所／岸和田アスコン／淀川アスコン
神戸事業所	神戸営業所／神戸西営業所／神戸工事事務所／せいしんアスコン／姫路アスコン
京阪事業所	京阪営業所／京都営業所／京阪工事事務所／大阪アスコン／福知山合材工場／京丹後アスコン

● 中四国支社

東中四国事業所	岡山工事事務所／鳥取工事事務所／香川工事事務所／愛媛工事事務所／津山合材工場／鳥取合材工場／池田アスコン／協町アスコン／東予アスコン
西中国事業所	呉営業所／島根営業所／広島工事事務所／山口工事事務所／広島合材工場／広島アスコン／島根アスコン／防府アスコン

● 九州支社

北部事業所	福岡営業所／福岡工事事務所／大分工事事務所／佐賀工事事務所／玄海アスコン／豊海アスコン／佐賀合材工場／福岡サテライト工場
中南部事業所	熊本営業所／熊本工事事務所／鹿児島工事事務所／熊本合材工場／阿蘇合材工場／ひむか合材センター
沖縄事業所	沖縄工事事務所／海邦アスコン

2017年10月時点

トップメッセージ



持続的成長を実現していくために
私たちは未来に向けて挑戦します。

代表取締役社長 西田 義則

❖ わたしたちを取り巻く環境

建設業を取り巻く環境は、東日本大震災の復興需要や民間投資の回復および3年後に控えた東京五輪関連需要により建設市場は引き続き堅調に推移しています。その一方で、日本国内の人口減少と少子高齢化が進む中、働き方改革およびICT技術を活用した生産性向上に国をあげた新たな取り組みが動き始めています。

このような状況の中、当社は、「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する。」という企業理念のもと、各種事業活動を通じさまざまな社会的課題に取り組んでいます。

❖ 社会的課題への取り組み

建設業で働く私たちにとって最も優先すべき「安全」について、意識を高める取り組みに加え、重機と作業員の接触事故を防止するためのセンサーの導入や、連絡車への衝突防止補助システムの導入など、ダブルセーフティを推進しています。

近年、国内インフラ投資が新設から維持修繕にシフトしていく中「インフラ長寿命化」への取り組みとして、道路のひび割れやわだち発生を抑制する「リラックスファルトHT舗装」、ガラス質膜で構造物を守る「HFGシステム」、耐久性と景観に優れた自然石舗装である「インジェクト工法」など

の展開を図っています。また、「人々の健康」を守る技術として、ヒートアイランド現象や熱中症の予防効果が期待される保水性舗装を改良した「虫よけ舗装」を製薬会社と共同開発しました。

そして、「地域社会」との共存への取り組みとして、アスファルト合材を製造する合材工場のリニューアルを行い環境に配慮した最新設備にしました。また、工場と隣接する小学校児童が描いたポスターの掲示や工場などの見学会などの活動を通し、地域社会とともに発展していく取り組みを推進しています。

これからも当社は、社会的課題の解決に貢献することで、自らも成長し続ける企業でありたいと考えています。

働き方改革

わが国において少子高齢化による担い手不足や長時間労働対策は喫緊の課題です。当社は、女性や高齢者の活躍、長時間労働の削減や週休2日確保など、これまで建設業では難しいとされてきた多様な人材の確保と多様性のある働き方の取り組みによって魅力ある職場づくりを推進していきます。

また、働き方改革を進めるには、生産性の向上が必須となることから、ICT技術の建設現場への導入促進や年間工事消化量の偏りの平準化、

安全・品質トラブル防止などの取り組みも併せて推進し、持続的成長を実現していくための経営基盤を強化していきます。

当社の未来

当社は昨年（2016年9月）東日本大震災に係る舗装災害復旧工事に関する独占禁止法違反行為により公正取引委員会から排除措置命令および課徴金納付命令を受けました。また、東京都等発注工事および合材販売事業について、独占禁止法違反の疑いで公正取引委員会の立入検査を受けています。このような事態となったことを厳粛に受け止め深く反省するとともに、「二度とこのような事態を引き起こさない」という強い決意のもと、社外有識者を交えたコンプライアンス特別対策委員会を設立し、管理体制の強化および再発防止策の実施に全社一丸となって取り組み、早期の信頼回復に努めてまいります。

東京五輪後も建設市場は一定の規模を維持していくものと見ていますが、当社はその先の未来を見据え、時代や環境の変化に対応していきます。そして、創業から140年を越える大成建設グループの中核を担う企業として、これからも社会に必要とされるために、道路業界における「名実No.1」を目指し挑戦していきます。

2017年11月



特集

さらなる現場技術力の強化に向けて

『i-Construction』への取り組み

大成ロテックは、ICTを活用することによって、工事全体の効率化・高度化による生産性の向上、および品質や安全性の向上などに対応していきます。

ICT活用工事への取り組み

施工の流れ —ゴルフ練習場全面改修工事におけるICT土工活用事例—

01 起工測量

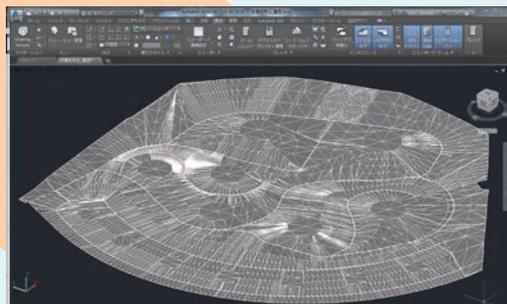
- UAV、TLSなどによる短時間での3次元測量



工期短縮
合意形成の
迅速化

02 設計

- 設計図から3次元設計データを作成
- 起工測量データと設計図面との差分で施工量を算出



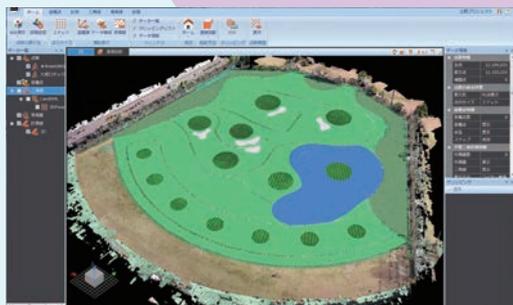
設計品質の
向上

大成ロテックの
ICT技術

施設管理の
高度化

04 竣工

- UAVによる竣工写真・動画の撮影
- 維持管理用3次元設計データの納品



施工の
最適化
安全・安心

03 施工

- ICT建機でのセミオート丁張レス施工
- 起工測量データとICT建機の施工履歴から部分払い出来高数量の算出



3次元測量

UAV（ドローン）やレーザースキャナの活用により、3次元測量を短時間かつ高精度に行うことができます。3次元地形データを作成することで正確な設計照査や施工土量の算出が可能となるため、作業効率の向上やコストの削減が図れます。



ドローンによる空中写真測量

コンクリート打設状況管理システム T-CIM®/Concreteの導入

「T-CIM®/Concrete」は、情報通信機能などのICTを活用することでプラントから出荷されるコンクリートの運搬管理・品質管理を行うことができるシステムです。このシステムによって、出荷から打設完了までの進捗状況を工事関係者が携帯端末で常時確認できるようになり、コンクリート舗装の効率化と品質向上が見込めます。また、各種品質管理帳票の出力も可能となるため、現場担当者の負担軽減にもつながります。



手元のタブレットで進捗状況を確認

工事測量ガイダンスシステム 測構ナビ3D

「測構ナビ3D」は、自動追尾型簡易式トータルステーションとタブレット型通信端末およびプリズムで構成される工事測量ガイダンスシステムです。トータルステーションがプリズムの位置と高さを随時自動計測し、設計データと計測データの水平・垂直方向の差分をタブレットに表示します。このため、舗装路面の高さ管理や構造物の床掘～据付までの一連の作業に丁張が不要となり、測量業務の大幅な省力化が実現します。



丁張レスでの据え付け作業確認

マシンコントロールによる施工

GNSS（汎地球測位航法衛星システム）による水平位置情報とゾーンレーザによる高さ情報補完機能を利用して、アスファルトフィニッシャの敷きならし高さを制御するシステムです。アスファルト混合物を敷きならすアスファルトフィニッシャ（のスクリード）の高さ管理を、施工機械に入力した3次元設計データとGNSSから受信する位置情報に基づいて自動制御するため、高精度な施工と作業の合理化が可能です。

また、土工のグレーダやブルドーザ、コンクリート舗装のスリップフォーム工法などにも適用が可能で、施工精度の向上や作業の省力化・効率化が図れます。



マシンコントロールによる土工



マシンコントロールによる舗装工

ICT技術の社内研修による人材育成

i-Constructionに対応できる技術社員を育成することを目的として「ICT研修」を開催しています。この研修では、3次元測量からICT建機を使った施工までの実践的な教育を行っています。またICT/CIMのデータ作成・処理に対応するため、女性を中心とした専門チームを結成し、独自のカリキュラムによる研修も行っています。



工事社員を中心としたICT研修

景観・環境技術紹介

アスファルト舗装やコンクリート舗装だけでなく、街並みや景観、環境に配慮した舗装に注目が集まっています。そんな社会のニーズに応える大成ロテックの景観・環境舗装技術をご紹介します。



TECHNOLOGY 01

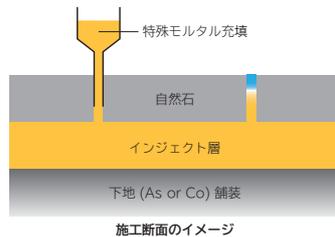
インジェクト工法

◆ インジェクト工法について

景観性の高い石張り舗装は、観光地などでよく適用されていますが、大型バスが走行するような路線では早期に石の破損やガタツキが発生していました。

そこで当社は、下図に示すように、自然石の下部および側面合わせて五面を、流動性が高く、硬化後も適度なたわみ性を有する特殊なモルタルで拘束することによって、ブロック同士を一体化する耐久性の高い自然石舗装を実現しました。

1994年に初めて施工して以来、27万㎡以上、約800件の施工実績があり、供用開始から20年を経過した最初の現場も良好な供用性を維持しています。



京都府 花見小路通

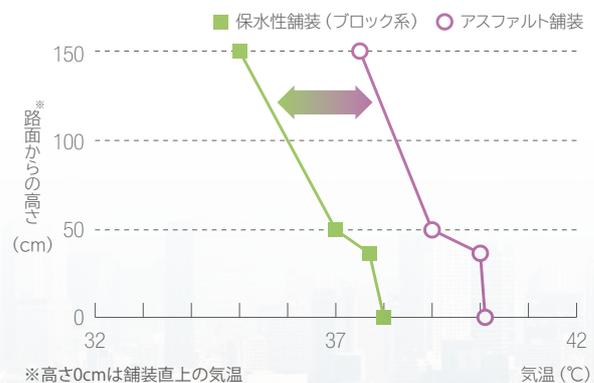


TECHNOLOGY 02

保水性舗装

「保水性舗装」とは、舗装内に保水した水分が蒸発する際に、舗装から熱を奪うことで夏季日中の路面温度を通常のアスファルト舗装と比較して10～20℃下げる舗装です。これによって、路面付近の気温も2～3℃下げることができ、暑熱環境を改善する舗装です。

舗装上空の気温測定例(人工気象室にて)



⇨ 保水性舗装の「人に対する優しさ」の新たな評価

保水性舗装の人への効果については、これまで路面温度や気温、湿度などといった環境量の変化から間接的に評価されてきました。

当社では、この効果をより分かりやすく評価することを目的に、従来の環境量に加え、新たに、被験者の皮膚温や体温、発汗量、心拍数、代謝量などの人体生理量を実測しました[※]。

屋内外における、ブロック系の保水性舗装（以下、保水性ブロック舗装）を用いた検証結果から、人体への熱負荷が明確に軽減されていることが確認できました。今後は、保水性舗装を普及していくことで、熱中症の予防などに貢献していきたいと考えます。

※ 岡山県立大学・信州大学・横浜国立大学・大阪産業技術研究所と共同で実証実験を実施



人工気象室での実験状況
(大阪産業技術研究所)



試験舗装上での実験状況
(岡山県立大学)

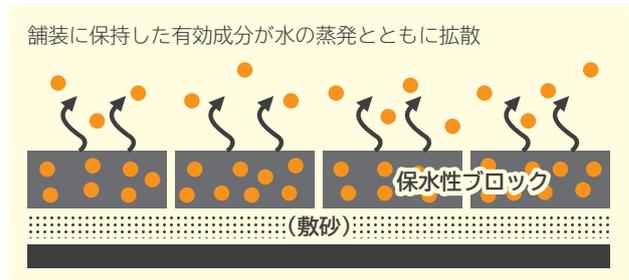
⇨ 虫よけ舗装

「虫よけ舗装」は、保水性ブロック舗装に蚊などの虫が嫌がる香料を散布し、保持させることで、路面から有効成分が蒸発・拡散していき、路面温度の上昇抑制効果に加え、蚊などが近寄りにくい空間を創出することを期待した舗装です[※]。

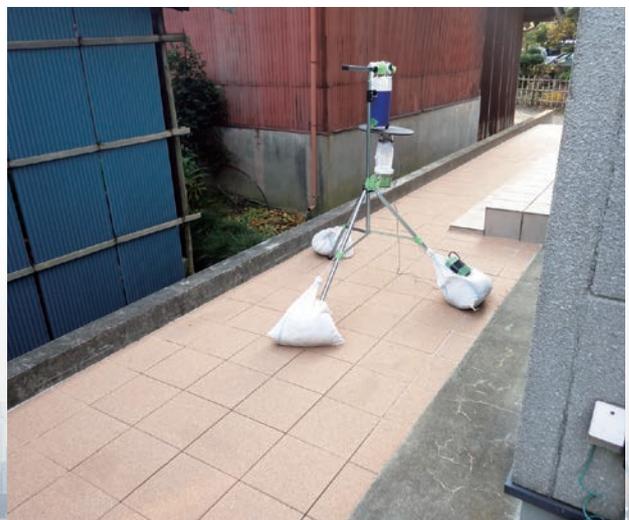
この舗装に使用する虫よけ剤はミント系の芳香を持つ天然由来の精油を使用しており、人体や生態系への影響に配慮し、殺虫成分を含んでいないことが特徴です。

近年、蚊を媒介とした感染症の拡大や、海外コンテナからの外来害虫の侵入などが懸念されており、人が多く集まる公園や公共施設周辺、港湾施設などの舗装に当該技術を適用することで、少しでも感染症や外来害虫の拡散の予防に役立てられればと考えています。

※「虫よけ舗装」は、アース製薬(株)との共同開発による



虫よけ舗装のイメージ



蚊の採取状況(捕虫器)



TECHNOLOGY 03

ガラスコーティングシステム (HFGシステム)

✦ HFGシステム (Heating-Free-Glass-System) について

熱処理を必要としない、塗って乾くとガラス質の膜が生成される、ガラスコーティングシステム (HFGシステム)。

水や空気は通さず光を通す特性を持ち、劣化しにくいことからさまざまな用途に使用できます。塗布対象面は、コンクリート面・一般塗装面・木材面・プラスチック面・アルミボンデ鋼板・ステンレス面・磁器タイル面など、幅広く対応します。長寿命化、落書き防止、耐候性、耐薬品性、耐熱性、防水・撥水性、高硬度、防汚の効果があります。

✦ HFGシステムの特徴

ガラス質膜が外部からの劣化要因を遮断し、コンクリート構造物や鋼構造物といった土木構造物を保護します。トンネル内壁面の防食・防汚対策や、擁壁や橋脚などの落書き防止対策に効果を発揮します。

有機系と無機系の長を兼ね備えたハイブリッド材料で、不燃材料として国土交通大臣の認定を得ています。その中でも閉所壁面等保護塗料 (HF-C) は、有機溶剤のような刺激臭もなく、施工中に火災事故を起こす危険がないため、トンネルや地下空間など密閉環境でも安心して使えます。



首都高速道路 海底トンネル排気ダクト部塗装 (施工前)



首都高速道路 海底トンネル排気ダクト部塗装 (施工後)



TECHNOLOGY 04

リラクスファルトHT舗装

リラクスファルトHT舗装は、ひび割れとわだち掘れの発生を抑制できるアスファルト舗装です。軽交通道路から重交通道路の舗装まで、また薄層舗装にも適用できます。

リラクスファルトHT舗装は、アスファルトが持つ優れた変形性能 (たわみ性) や応力緩和能力を低温時にも保持することで、ひび割れの発生を抑制できます。また、わだち掘れも抑制できるため、アスファルト舗装の長寿命化を実現します。



国道 (佐賀県) 施工前



国道 (佐賀県) 施工後

玄海アスコン

近年、福岡県の玄海アスコン周辺地区において、住宅地の整備が進み移住者が増加しました。移住者の大多数は若い世代で未就学児も多く、子供の人数急増が予測され、工場に隣接する地区に小学校が新設されることとなりました（2017年4月開校済）。そこで、当社は合材工場をより都市環境に合わせるために建替えを行いました。

特徴としては温室効果ガス排出低減のための「使用燃料のガス化」、プラントを囲いで覆う「シェルター化」、臭いを軽減する「脱臭炉」の追加や「省エネ機器の導入」などを行い、環境負荷低減・防塵・防音に配慮した最新の環境対策型プラントとして生まれ変わりました。



玄海アスコン全景



小学生が描いてくれたポスターを看板として設置しました



東京青海合材工場・東京臨海リサイクルセンター、城南島リサイクルセンター

東京青海合材工場・東京臨海リサイクルセンター（東京都江東区）および城南島リサイクルセンター（東京都大田区）は、都市型合材工場、中間処理施設として都内を中心にアスファルト合材の出荷・廃材の受入処理などを行う、当社を代表する旗艦施設です。

当工場・リサイクルセンターは、毎年JICAなどを通じて海外からの視察・研修を受け入れています。当社の製造・環境負荷低減技術などを日本国外にも広めることで、世界の道路技術発展に貢献しています。



東京青海合材工場



城南島リサイクルセンター



場内視察の様子

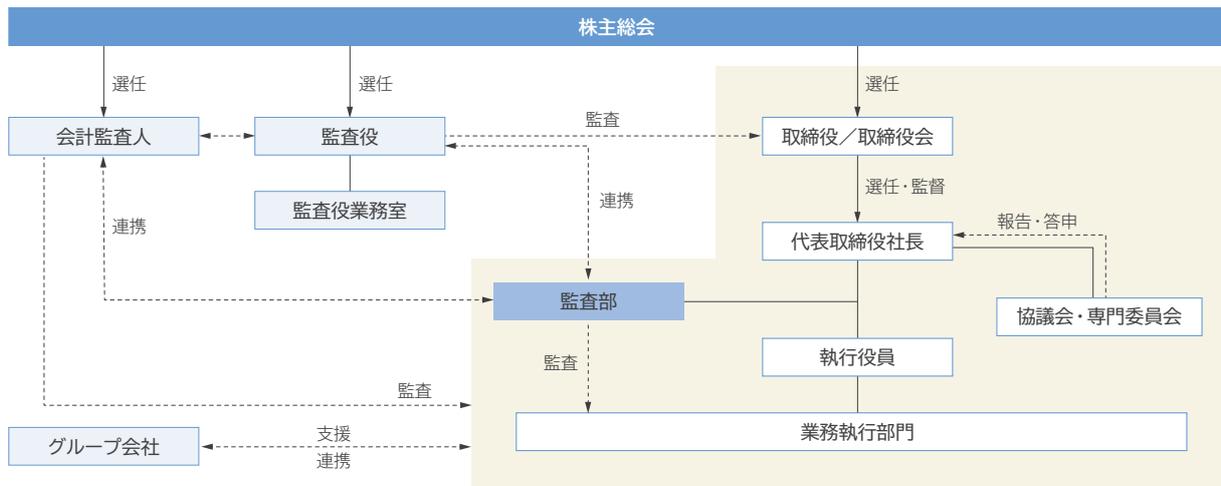


企業統治

大成ロテックでは、経営の効率性・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会（社外取締役を含む）は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行います。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っています。

コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本に「建設業法の遵守に関する行動基準」ほか各種規定を定め、コンプライアンスを推進してまいりましたが、一連の独占禁止法違反事件を受け、より一層の再発防止および法令遵守の体制を強化すべく、新たに「コンプライアンス推進室」を設置し、また実効性のある再発防止策の策定・実施を行うべく「コンプライアンス特別対策委員会」を設置しました。

法令を遵守し、また社会的要請にも応えるため、コンプライアンス推進体制を強化し、より一層社会に信頼される会社づくりを目指します。

具体的な取り組み

- 従業員一人ひとりに対してコンプライアンスの精神を徹底させるために、毎年、全国の事業所において全従業員参加のコンプライアンス研修を開催しています。ここでは、諸規定の解説だけでなく、独占禁止法、建設業法、入札・談合、廃棄物処理法からハラスメントなどの人権問題に至るまで、多岐にわたり具体的な問題を取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。
- 営業活動におけるコンプライアンス遵守状況の確認のため、社内規定「独占禁止法遵守のため行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」に則り、毎年入札業務の監査を行っています。

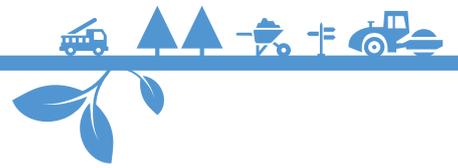
- コンプライアンス教育の一つの手段としてネットワークを利用したeラーニングも実施しています。コンプライアンス・建設業法・情報セキュリティ・労務安全・環境・ハラスメントなど、毎回テーマを変え、自己点検をしています。



eラーニング



コンプライアンス研修の様子



情報セキュリティ対策

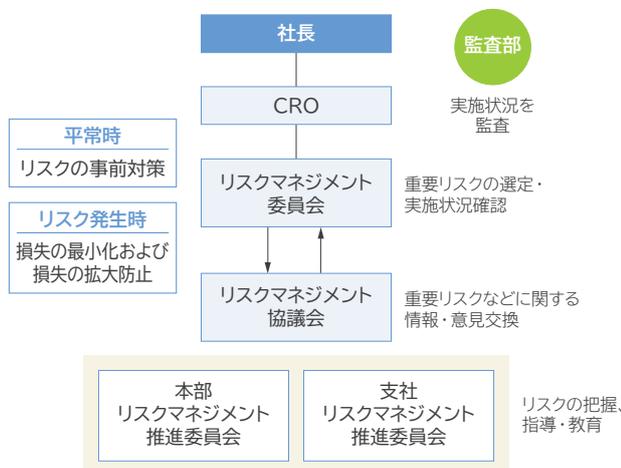
情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便をもたらした反面、サイバー攻撃やインターネットによるトラブルなど大きな危険性を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報部門の情報セキュリティレベルの向上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規定」など、さまざまな情報セキュリティ対策を講じています。

- 個人によるTwitter、Facebookなどの情報発信メディアによるトラブルを防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的若しくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リスクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

リスクマネジメント実施体制



マネジメントシステム

当社は現在3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。その内、社外からその活動が見えやすい労働安全衛生マネジメントシステムについてはCOHSMSに基づく自己宣言方式を採用して運用しています。また、実態が外から見えにくい品質管理システム、環境管理システムについては国際規格であるISO9001とISO14001に基づく外部の認証登録を受け、第三者から定期的にその運用状況について審査を受け、日々業務の継続的改善に努め、当社の持続的な成長につなげています。



なお、現在ISO9001は2008年版、ISO14001は2004年版で認証取得していますが、2017年中に2015年版の移行審査を受け、認証取得する予定です。

海外での取り組み

北京路新大成景観舗装有限公司の紹介

2002年に中華人民共和国の北京市で設立された日本企業2社、中国企業2社からなる合弁会社です。「社会のために、より良い居住環境を創り出す」という企業理念に基づいて、地域の人と環境にやさしい路面を作ってきました。

今後は北京市外にも事業範囲を広げつつ、環境に配慮した特殊舗装技術でインフラ整備事業に貢献していきます。



北京市前門の舗装工事の様子

地域社会とともに



北海道支社 清掃活動で湖岸の自然を守る

日苦工事事務所では、協力会社と合同で北海道苫小牧市にある「ウトナイ湖野生鳥獣保護センター」周辺の清掃活動を実施しました。約50名が参加し、路上のゴミ拾いや除草作業を行いました。



ウトナイ湖清掃活動

南関東支社 ボランティアスタッフでランナー応援

東京事業所は、工区内で行われた江東区役所などが主催する「江東シーサイドマラソン」に法人ボランティアスタッフとして参加しました。参加した社員は、ランナーが安心してスムーズに走れるよう、コース整理や誘導を行い、ランナーへ声援を送りつつ大会をサポートしました。



マラソンボランティア

中四国支社 環境美化活動を継続的に

呉営業所では協力会社と共同で、呉駅前前のバス停付近の清掃・美化活動に取り組んでいます。

2016年で6年目を迎え、地域の皆さんが良い環境で生活できるよう今後も継続して活動を行っていきます。



呉駅前清掃・美化活動

東関東支社 地元小学生を招いて社会科見学を実施

石岡合材工場では、三村小学校の3年生を招いて毎年工場見学を行っています。当社の社員が講師となり、事業内容の説明をするとともに、ショベルカーやダンプの運転席での記念撮影や碎石などの材料に触れる体験イベントを実施しました。道路舗装についての知識を深めるとともに、興味を持っていただく良い機会となっています。



小学生工場見学会

九州支社 北九州空港まつり2016参加

2016年9月、北部事業所は北九州空港で開催された空港まつりに、子供向けの建設機械体験乗車ブースを出展しました。普段乗ることのできない建設機械だけに、行列ができるほどの人気で、子供たちには大変喜んでいただけました。



北九州空港まつり



東北支社 春のアレマキャンペーン

東北支社では「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催されることに伴う春のアレマキャンペーン（全市一斉ポイ捨てごみ清掃活動）に参加しました。事業所・工場周辺部の市道および歩道のゴミ拾いを行い、拾ったゴミの量は10袋にもなりました。この活動を通して、地域住民の美化意識のさらなる向上に期待し、今後も同様の活動を継続していきます。



春のアレマキャンペーン

南関東支社 自転車用空気入れの設置

東京事業所では、地域貢献の一環として事務所前に「空気入れ」を設置しています。事務所の隣には老人ホームがあり、車いすで移動された際に空気を入れている姿を目にします。自転車に乗られている方にも多く利用いただいています。安心して利用いただけるよう、年に数回空気入れのメンテナンスを行っています。



東京事業所 空気入れ

南関東支社 恵まれない子供たちのために

ペットボトルのキャップを集めることで、循環型社会を作り、地域の活性化を目指しています。また、リサイクルしたキャップで得られた収益で世界の恵まれない子供たちへワクチンを届けることができます。事務所内でペットボトルとキャップを分別し、貯まったキャップをNPO法人エコキャップ推進協会へ送るという支援活動を行っています。



北関東支社 地域の方々とのコミュニケーション

2016年10月、浦和合材工場に隣接する養護自立支援施設「むつみの里」主催の、第22回むつみ祭に参加しました。当工場は「国産豚入り焼きそば」「唐揚げBOX」「わたあめ」「ジュース」の屋台を出店し、子供向けの「特設滑り台」や、「大成ロテックの紹介コーナー」も設置しました。利用者さんや近隣の住民の方々とのコミュニケーションを深めることができ、良い機会となりました。



むつみ祭

技術研究所・機械技術センター 地元小学生の施設見学会

技術研究所・機械技術センターでは、常光小学校3年生を招いて施設見学会を行いました。通学時に見ている施設の様子に興味津々の児童たちに、実験施設ではアスファルト舗装の特徴などを説明し、屋外ではアスファルトフィニッシャなど施工機械の大きさを体感してもらいました。児童たちからは「大きな機械に乗れて嬉しかった」「みんなが歩きやすい道路を作ってくれてありがとう」といった声があがりました。



アスファルトフィニッシャの前で

従業員とともに



人権の尊重

人権啓発活動

「大成ロテック企業行動規範」で基本的人権の尊重を掲げ、社長を委員長とした人権啓発協議会を設置して、差別のない社会の実現とハラスメントのない良好な職場環境づくりを推進しています。また、人権啓発研修会の実施はもとより、各社内研修のカリキュラムにも人権研修を組み入れ、さらにイントラネット上での「人権啓発のしおり」の掲載や、各事業場でのハラスメントに関する相談員の配置など、従業員に対し人権に対する意識の向上を図っています。



人権啓発のしおり

人権啓発協議会

目的

- ① 同和問題をはじめ社会に存在する様々な差別事象を正しく認識する。
- ② 不合理や差別を無くすよう努力する社員の行動を促進する。
- ③ 人権尊重の目的を達成する為の啓発活動を行う。

活動方針

- ① 『人権は本来持っている権利であり、全ての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利』であることを正しく認識し、より良い人格形成を目指す社員の成長を支援する。
- ② 同和問題、障害者、エイズ、セクハラ等の差別の実態を正確に理解し、集合研修や職場等で人権意識の高い従業員の育成をはかる。

人の集う、働き甲斐のある会社の実現

ワークライフバランスへの取り組み

取組内容	活動内容
時短推進	<p>早く帰ろうデーの実施 PC自動シャットダウンシステムを導入し、社員組合の掲げる「毎週水曜日の早く帰ろうデー」を後押ししています。</p> <p>働き方改革への取り組み 社内に「労働時間に関する協議会」を設置し、さまざまな施策の立案・効果の分析を行っています。</p> 
休暇取得	<p>長期休暇 夏期、年末年始には特別休日のほか計画年休や休暇取得推進日を設け、6~11日程度の連続休暇となるように設定しています。ゴールデンウィークも同程度の連続休暇となるよう設定しています。</p> <p>リフレッシュ休暇・特別慰労休暇 勤続15年を迎えた社員にはリフレッシュ休暇として連続7日の休暇を、勤続25年を迎えた社員には特別慰労休暇として連続7日の休暇および旅行券を付与し、長年の勤務に対し慰労するとともに、心身ともにリフレッシュしさらなる活躍の契機となる制度を設けています。</p>
子育て支援	<p>仕事と子育ての両立 社員が能力を十分に発揮できるように次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定や、出産・育児や介護にかかわる休業・休暇制度の整備をしています。 (2016年度の女性育児休業復帰率：100%)</p> 
その他	<p>福利厚生充実 従来の福利厚生サービスを見直し、より旅行やショッピングなどで幅広く便利に使えるサービスを導入しました。</p>

労使関係

当社社員組合とユニオンショップ協定を結んでおり、管理職などを除くすべての正社員が組合員となっています。労使関係や会社の事業活動の円滑化を目的に毎年労使間でアンケート調査やさまざまな対話を実施しています。労働条件の変更などは労使で協議する事項としてあらかじめ労使間で決定しています。

人材開発教育活動

新入社員研修に始まり階層別研修や各種専門研修、資格試験対策研修を体系的に実施し、OJT教育、通信教育制度などと合わせて、従業員の成長をバックアップしています。

	スキルアップ研修	部門別専門研修	
内定者	内定者教育（通信教育）		
1年目	新入社員合同研修 新入社員フォローアップ研修		
2年目		基礎技術（2年次）研修 初級品質管理担当者研修	
3年目		技術（3年次）研修 中級品質管理担当者研修	
4年目		工事担当者（4年次）研修	
5年目		上級品質管理担当者研修	
6年目		工事担当者（6年次）研修・プレゼン研修	
7年目		管理担当者研修	
8年目		現場代理人研修	
9年目			
10年目			統括管理能力向上・業務改善研修
35歳			
40歳	マネジメント研修	統括管理能力向上・ISO内部監査研修 新任営業所長研修 新任工事事務所長研修 新任工場長研修	
45歳	新任課長格研修		
50歳	部長格研修		
55歳			
60歳			

1級土木受験対策研修
1級舗装受験対策研修
OJT教育
通信教育 など



※掲載の研修は一例であり、ほかにも多数のプロジェクトを実施しています。

資格取得支援

全社員を対象として業務上必要となる資格・免許などの取得について、受験対策研修の実施や受験費用などを支援し、各分野におけるスキルアップを図っています。

資格一例

- 1級土木施工管理技士
- 1級舗装施工管理技術者
- 1級建設機械施工技士
- 1級建築施工管理技士
- 1級建築士
- 技術士
- 監理技術者資格
- 監理技術者講習
- 測量士
- コンクリート主任技士
- 1級建設業経理士
- 衛生管理者
- 危険物取扱者
- 博士号
- その他多数

未成年社員に対する教育・指導

未成年社員と年齢の近い社員を指導員に任命し、生活指導や社会人としてのマナーの教育をするとともに、コミュニケーションを図っています。

社長表彰・部門長表彰

多大な功績を挙げ、社業の発展・向上に寄与した個人や団体を表彰し、業務改善・創意工夫などの意欲向上を図っています。

テクノフォーラム2016開催

7月12日、鴻巣研修センターで「テクノフォーラム2016」が開催されました。第1回となる1992年より、当社の高い技術力を全社的に共有することを目的に隔年で開催されていましたが、2013年度から社員のプレゼン能力向上を目指し、毎年の開催となりました。発表は、「ICT（情報化施工）を活用した省力化技術」など17編で、事前に提出された論文と当日の発表内容によって審査が行われました。発表者と参加者による活発な意見交換があり、社員の創意工夫や技術提案を知る最良の機会となりました。



テクノフォーラム
2016受賞者

労働安全衛生管理体制



安全衛生マネジメントシステム

当社は、「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」および「建設業労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン」（コスモスガイドライン）に基づく安全衛生マネジメントシステムを運用し、事業活動に伴う労働災害、公衆災害の防止と安全衛生水準の向上に努めています。

2017年安全目標

死亡災害	ゼロ
災害率	1.5 以下
公共災害	ゼロ

(※災害率 = $\frac{\text{不休災害を含む労働災害による死傷者数}}{\text{延労働時間数}} \times 1,000,000$)

※災害率は当社独自の考え方で、不休災害を含む労働災害が100万時間あたり何人発生したかという指標です。

2017年度重点実施事項

- ① 支社幹部による「事故・災害撲滅活動」の推進
 - 現場パトロール点検者および統括安全衛生責任者の能力向上教育の実施。
 - 法令、規則、社内規定および社会貢献の遵守教育の実施。
- ② 事業所長による統括的な安全衛生環境管理と工事事務所長、作業所長、工場長自らによる安全衛生環境管理の徹底
 - リスクアセスメントを取り入れた現場施工計画・工場操業計画および日常職場活動（教育、作業手順、各KY、巡視など）の活性化。
- ③ 協力会社に対する教育・指導のさらなる強化
 - 大成ロテック安全衛生環境協力会連合会との連携による組織的安全衛生環境活動の推進と各職長会活動による現場力・工場力・知力の強化。
 - リスクアセスメントを取り入れた現場・工場での「作業手順書」、「リスクKY」の充実と「一人KY」の定着。
 - 再下請負を含めた「送り出し教育」の確実な実施。

工事現場での重点実施事項

リスクアセスメントによる減災・防災

[重機・車両、土砂崩壊災害の防止]

- ① 車両系建設機械などに起因する類似災害・繰返型災害の防止
- ② 関係者への周知による地下埋設物損傷事故および地上公共物損傷事故の防止

[安全衛生環境管理活動の活性化]

- ① 工事事務所長（作業所長）が実施する安全環境教育による工事社員の安全環境管理能力の向上
- ② 協力会社の自主安全衛生環境管理活動の推進

[交通事故]

- ① 前方不注意・スリップによる事故の撲滅

[環境保全]

- ① 産業廃棄物適正処理のための教育の実施
- ② 使用材料のロスおよび手直しの低減によるCO₂の削減

工場での重点管理項目

リスクアセスメントによる減災・防災

[重機・車両、工場施設災害の防止]

- ① 車両系建設機械などに起因する類似災害・繰返型災害の防止
- ② ベルトコンベアなど回転体の巻き込まれ事故防止

[公衆災害の防止]

- ① 合材運搬ダンプ事故の防止

[安全衛生環境管理活動の活性化]

- ① 工事事務所長（作業所長）が実施する安全環境教育による工事社員の安全環境管理能力の向上
- ② 協力会社の自主安全衛生環境管理活動の推進

[交通事故]

- ① 前方不注意・スリップによる事故の撲滅

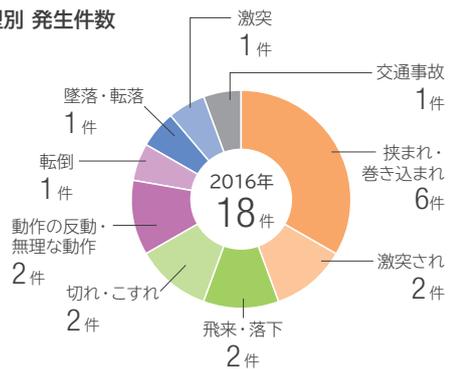
[環境保全]

- ① 産業廃棄物適正処理のための教育の実施
- ② 省エネ活動のさらなる推進

2016年の事故・災害発生状況 総括

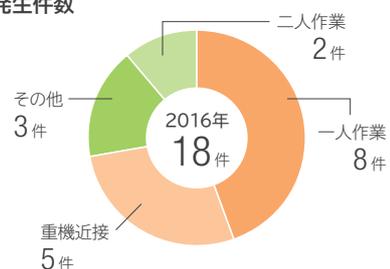
例年、「挟まれ・巻き込まれ」が発生しています。鉄蓋で指を挟んだ事例、ダンプの後ゲートに指を掛けて挟んだ事例などの繰返し型の災害がほとんどです。「激突され」も例年の上位です。バックホウ、ローラーなどの重機と接触したり、これらに激突される事例が数件発生しました。

事故の型別 発生件数



「一人作業」での発生が例年最も多くなっています。災害の発生件数が減少した中で、「重機近接」が2015年に比べ2倍以上に増加しました。

作業形態別 発生件数



パトロールの実施

当社では以下のようなパトロールを実施して事故災害の撲滅に努めています。

●● 社長パトロール

社長によって行われるパトロールです。



東名高速道路 豊田管内舗装補修工事
社長パトロール



全国安全週間に実施された東京青海
合材工場社長パトロール

●● 本社安全環境品質部によるパトロール

全国安全週間、年末年始、年度末に合わせて行われるパトロールを含め、本社安全環境品質部が随時行う現場や工場のパトロールです。このパトロールでは安全、環境、品質の一元化の考えに基づき、安全だけではなく、当社が認証取得している品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの内部監査も兼ねた巡視を行っています。

●● 支社、事業所によるパトロール

支社長をはじめ、支社幹部や事業所長によってパトロール計画に則り定期的に行われる安全パトロールです。

●● 事業主パトロール

協力会社の事業主によって毎月2回以上行われる安全パトロールです。



現場パトロール

協力会社とのかかわり

●● 職長への教育

建設業の担い手不足は業界が抱えている問題です。当社は施工部に所属する正会員協力会社の職長の工事施工管理能力や積算能力の向上を図り、当社の工事施工の担い手になってもらうことを目的として、2016年11月から1年かけて4回にわたる職長への教育を全国で実施しました。



職長への教育の講義風景

●● マイスター職長制度について

当社の施工現場において労働災害の防止と品質のさらなる向上を図ることは、喫緊の課題です。そのためには協力会社の優秀な職長を確保することは必要不可欠です。労働災害の減少、品質のさらなる向上に寄与し、当社の施工現場に協力会社の優秀な職長を確保することを目的として、新たに優良技能者を認定する制度を設けました。

【条件】

- ①安全衛生環境協会正会員の協力会社に所属し、当該会社に5年以上勤務している者
- ②現場施工に直接かかわる職長で、災害防止活動、職長会活動、職場環境改善、品質の確保・向上に積極的に協力し、作業指揮などの能力が高く、実績・貢献度などが総合的に優秀である者
- ③資格
 - ・実務経験10年以上
 - ・職長・安責者教育講習終了後5年以上
 - ・能力向上教育修了者

2016年度は全社で30名のマイスター職長が誕生いたしました。



マイスター職長に認定された方のヘルメットに貼るステッカー

ダブルセーフティへの取り組み

バックホウとの接触はときに重大な事故を引き起こします。当社は作業員の安全を守るため、バックホウの「エンジン停止システム」や「バック走行禁止システム」などの導入を促進しています。安全意識のさらなる向上に加え、技術的な安全対策をさまざまな重機や社用車などに積極的に導入し、さまざまな面から安全を多重化していく「ダブルセーフティ」の浸透に努めています。

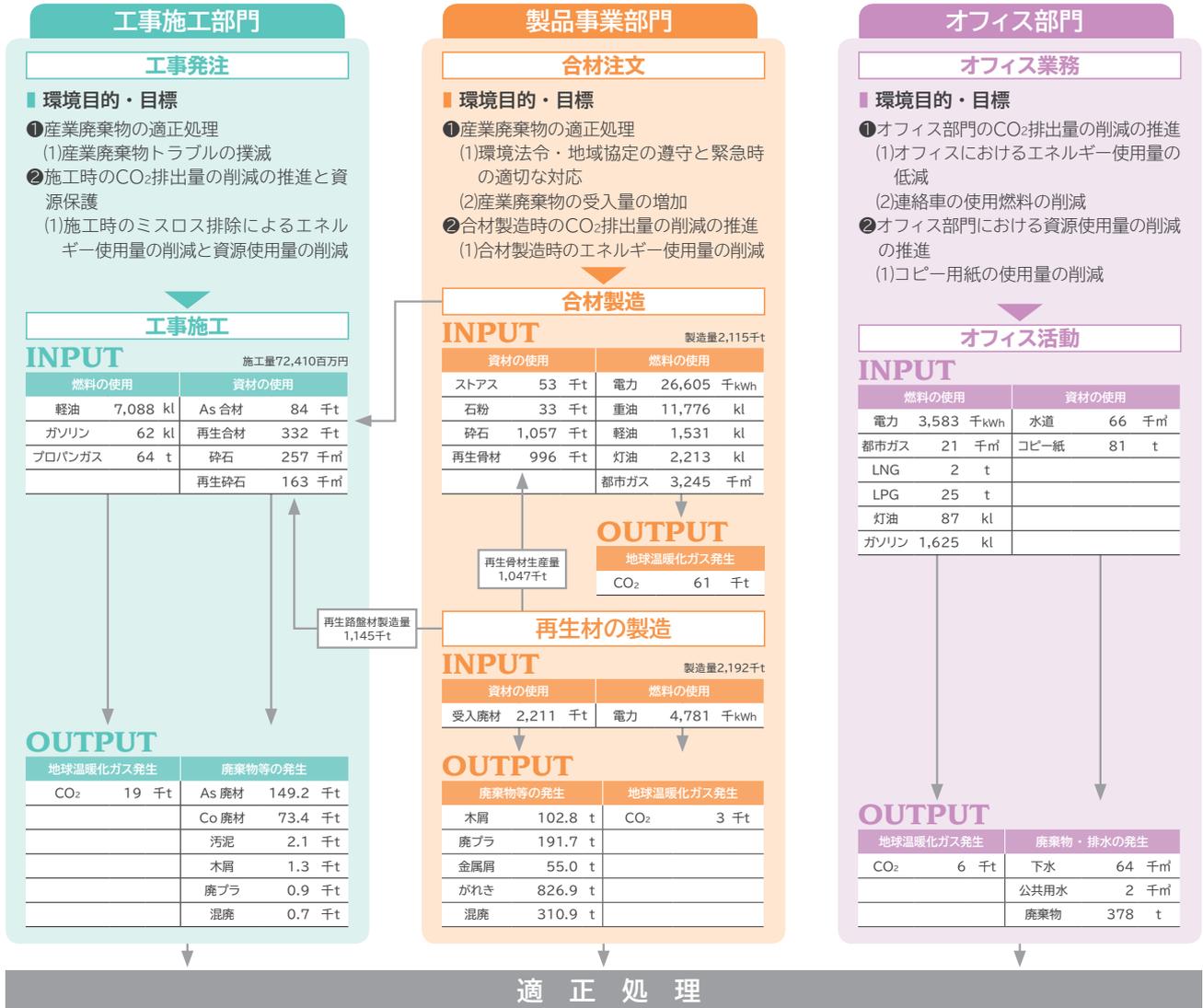


環境活動報告



環境負荷物質の排出と削減状況

大成ロテックは、道路などの施工や合材製造、営業活動、技術開発・研究活動、オフィス活動その他の日常業務を通じて、以下のような環境負荷物質を排出しています。そして、舗装工事現場から排出されるアスファルト、コンクリートの廃材などを再生する中間処理プラントの活用により、産業廃棄物最終処分量の削減に貢献しています。



CO₂排出量削減への取り組み

大成ロテックでは、低炭素社会の実現を目指し、施工時、製品製造時のCO₂削減に努めています。



工事施工部門では計画に沿った進捗と品質を目指すことで、工期の余分な延長などを抑えており、全体としてCO₂排出量は3年間ほぼ横ばい(多少減少傾向)となっています。ただし、施工高あたりの排出量には課題が残ります。製品事業部門では製造tあたりのCO₂排出量は2年連続での減少を達成しています。当社は今後もさまざまな取り組みを通して環境に配慮した活動を行っていきます。

2016年度の施工実績

大成ロテックは、全国各地でさまざまな事業活動を展開しています。
2016年度の完成工事をご紹介します。

岡山国際サーキット場改修工事



発注者
株式会社 岡山国際サーキット

竣工日
2017年2月3日

工事概要
切削オーバーレイ工：46,958m²
縁石工：1,416m
排水工：2,070m
区画線工：1式

サーキットコースの全面切削オーバーレイを行い、路面の平坦性、すべり抵抗性の回復を図りました。また、同時に老朽化した各コーナーの縁石ブロックや排水構造物のリニューアルを行いました。

工事担当者の声

冬期のサーキットクローズ期間中に集中して工事を行いました。通常舗設部はもちろん、施工ジョイントも良好に仕上げることができ、サーキット関係者から高評価を得ることができました。また、4月の「SUPER GT」、5月の「スーパーフォーミュラ」という国内最高峰のレースを観戦した際の迫力、観客の大歓声には本当に感動しました。



岡山工事事務所
星 一朗

東京競馬場 ダートコース路盤補修工事



発注者
日本中央競馬会東京競馬場

竣工日
2016年9月30日

工事概要
ダートコース内クッション砂撤去敷均工：53,130m²

ダートコースのクッション砂を撤去し、新材砂と洗浄砂を混合して敷き均しました。また、損傷している路盤を部分的に補修しました。

工事担当者の声

開催の行われていない期間を利用して工事を行いました。クッション砂敷きならし作業では、砂厚の調整が難しく、とても苦労しましたが、無事に引渡しを行うことができました。東京競馬場は芝コースがとても綺麗ですばらしいのですが、お越しの際はダートコースにも注目してみてください。



城西工事事務所
大淵 晃

新東名高速道路豊田舗装工事



発注者
中日本高速道路株式会社

竣工日
2016年6月25日

工事概要
工事延長：15km
インターチェンジ：1ヶ所
ジャンクション：2ヶ所
サービスエリア：1ヶ所

愛知県区間55kmの新東名高速道路開通により、並行する東名高速道路の渋滞が大幅に緩和されました。

工事担当者の声

当社単独での高速道路建設工事としては過去最大の71.7億円の工事です。幾多の工事中止による工程遅延に対する工程短縮の努力と総合評価技術提案などによる平坦性・乗り心地向上に対して、発注者からも高い評価を得られました。大成ロテックの技術力を結集して完成した、日本の新たな大動脈です。



高山舗装工事業所
西村 純一郎



大成ロテック株式会社

当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。

<http://www.taiseirotec.co.jp/>



**NON
VOC**

本報告書は、環境に配慮した印刷工程と印刷資材を採用しています。省エネルギーの「UV印刷」を採用し、揮発性有機化合物の大気への排出が極めて少ない「NON VOCインク」と、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC® 認証紙」を使用しています。